

中央区幌西地区住民による自主防災活動

(中央区)

～ 自主防災訓練「防災体験 08 幌西小」の開催～

平成 20 年 7 月 27 日、札幌市立幌西小学校グラウンドにおいて、快晴の空のもと、自主防災訓練「防災体験 08 幌西小」が開催されました。

この訓練は、地元町内会等が主体となり平成 8 年から実施され 13 回目の開催ということもあり、今年も約 250 名の体制での大訓練となりました。

消防団、中央消防署の協力のもと、夏休み最初の日曜日ということもあり、小学生や親子連れの小さいお子さんをはじめとした地域の方々、町内会で防災活動に励まれている役員の方々が、汗ばむような真夏の日差しの中、意欲的に訓練を行いました。



訓練内容は、震度 6 の地震が発生したという想定のもと、被災内容の本部への伝達訓練から始まり、消火器・消火バケツリレーによる初期消火訓練、防災資機材を使用した救出・救助訓練、煙道避難訓練、応急手当訓練等の実際の災害発生を想定した実施訓練を中心に行われ、参加者も本番さながらに真剣に参加していました。

幌西地区連合町内会防災部長の佐藤英男さんに話を伺ったところ、「参加する住民全員が積極的に体験訓練に取り組み、万が一の場合に備えようとの姿勢が年々高まっています。消防署・消防団の指導のもと、各町内会の防災担当役員が地域住民に初期消火や初期応急手当をサポートできるレベルまで達しており、これも毎年継続して行っている訓練の賜物。」と力強く語っていただきました。



訓練に参加していた少年消防クラブのチビッコ 3 人組
本間 雄太くん(資生館小 6 年)、氏家 諒くん(幌西小 5 年)、柴田 祐希くん(伏見小 5 年)
大人に負けず、元気いっぱい頑張っていました！

防災資機材を使用した救出・救助訓練の様子
自慢のチームワークが発揮されました！！

